

新刊書籍のご案内

『日本の歴史的広告クリエイティブ100選』

日本人なら誰もが知っている！？広告100点、厳選しました！

株式会社宣伝会議(本社:東京都港区 代表取締役社長:東 彦弥)では、『日本の歴史的広告クリエイティブ100選』を2017年11月10日より、全国書店、インターネットにて順次発売いたします。

現代人にとって、広告はより身近なものとなっています。街を歩けばポスターやデジタルサイネージが目飛び込んでくるのは当たり前。スマホの普及によって、ベッドの中などプライベートな空間でも広告を目にする機会は増えました。

それらの広告はすべてクリエイティブです。その歴史を振り返ると、先人たちの決して色あせないアイデアが詰まっているはず。本書では、江戸時代から現代までの代表的な広告を100点選出し、その歴史的背景を含めて「アイデアの素」を紐解きます。

なお、本書は広告の歴史を時間軸に沿って紹介する、いわゆる「歴史の本」ではなく、「あっと驚く、人を惹きこむ広告」や「社会に訴える、問題提起する広告」など9つの項目に分けて紹介しているため、どこから読んでも楽しめる「アイデアのカatalog」としても活用していただけます。



不二家「ペコちゃんいくつ?」(1958年)



＜掲載広告例＞

- ・山東京伝店「謎絵入り引き札」(1795年)
- ・味の素「断じて蛇を原料とせず」(1922年)
- ・阪急百貨店「開店広告」(1929年)
- ・壽屋「出たオラガビール」(1930年)
- ・森永製菓「エンゼルは男の子?女の子?」(1957年)
- ・パイロット万年筆「はっぱふみふみ」(1969年)
- ・日本国有鉄道「国鉄は話したい」(1975年)
- ・西武百貨店「おいしい生活。」(1981年)
- ・としまえん「史上最低の遊園地。」(1990年)

【著者略歴】

岡田芳郎(おかだ・よしろう)

1934年、東京・小石川に生まれる。

早稲田大学政経学部卒業後、1956年(株)電通に入社。営業企画局長、コーポレートアイデンティティ室長などを経て電通総研常任監査役を務め98年に退職。大阪万博「笑いのパピリオン」企画、「ゼロックス・ナレッジイン」はじめ数々の都市イベントをプロデュース。電通のCIビジネスへの取組みにリーダーとして、アサヒビール、NTT、JR、東京電力はじめ数多くのプロジェクトを推進した。また、企業メセナ協議会の創設に尽力した。

◆本書に関するお問い合わせはこちら

株式会社宣伝会議 書籍企画部

TEL : 03-3475-3030

〒107-8550 東京都港区南青山 3-11-13 <http://www.sendenkaigi.com>

※著者への取材・講演、献本希望、書籍のプレゼントキャンペーンのご相談も承っております。